

1、埼玉中部資源循環組合について

事業者選定委員会による事業者選定の段階にはいっている。DBO方式であるため、設計・建設段階から事業を委託する。建設予定地の地盤のもろさが明らかになった。

(1) 吉見町土質台帳及び地質調査のボーリング調査の結果の反映を聞く。

(2) 平成26年3月に候補地を決定した

が、それに先立ち、8か所の候補地評価を行っている。その評価を行う建設候補地評価書資料P47,P50,P51は、吉見町大串は地震危険度の評価で得点が高い。が、P51の液状化のおこる可能性を非砂層と砂層の厚さで、砂層の厚さ/非砂層の厚さの数字が大きいほど、液状化による影響が大きいと数字を掲載している。この計算式の値を液状化の簡易な数値とする根拠は何か。

(3) 環境影響評価準備書にはボーリング調査は2カ所の結果が掲載されている。が、土質調査は3カ所の仕様書で契約されている。理由を聞く

(4) 予定地5haのうち、少なくとも、施設及び付帯施設については造成の基礎工事が必要だが、深さ20mまでのボーリング調査の経費、造成工事費の概算を聞く

(5) 建築基準法建築確認の審査は、現在多くが、民間委託となっている。民間委託による耐震偽装による危険性が発覚している。現状の造成地の安全性を偽装したままで、ごみ処理施設を建設することは危険である。又、安全な土台を造成すると建築期間が延び、負担金が高額となる。見直しを求めるが、考えを聞く。

2、これからのごみ処理のあり方について

気候変動による地球温暖化の加速、あわせて、プラスチックごみの海洋流出による生態系への影響が深刻化している。人間生活への影響を和らげるために循環型社会の構築が必要だが、嵐山町の施策としてできることとして以下を提案する。以下の提案について考えを聞く

(1) 生ごみを焼却しないで、エネルギー等に変換して活用するシステムの導入について

(2) 自治体としてプラスチックごみ0を目指す展開をすることについて

たとえば、公共の場でペットボトルの頒布をやめる。職員はマイボトルをもつ。レジ袋の変わりにエコバックを使う。町民への頒布物をレジ袋ではなく紙袋に入れる。自動販売機でペットボトル販売をやめる。

3、町立幼稚園3年保育について

(1) この10月より、幼稚園・保育園の無償化が始まる。民間保育園、町外私立幼稚園に通所・通園する3歳児は無償で教育を受けることができるが、町立幼稚園を希望する3歳児の場合、家庭保育が主となる。無償で集団教育を受けられる子と家庭保育の子の差をどう

解消するのか。

(2) 次年度の3歳児について保育園入所希望者、町外民間幼稚園希望児など、具体的に現2歳児の状況把握のために、アンケート調査を実施すべきであるが、考えを聞く

4、学童保育について

学童保育を(株) シダックスに指定管理委託して、10月で1年になる。

現状把握と課題について聞く

5、花見台工業団地・川島地区工場誘致の進捗について

(1) 花見台工業団地拡幅の進捗と事業者の決定について聞く。

(2) 川島地区工場誘致の進捗および都市計画道路について聞く